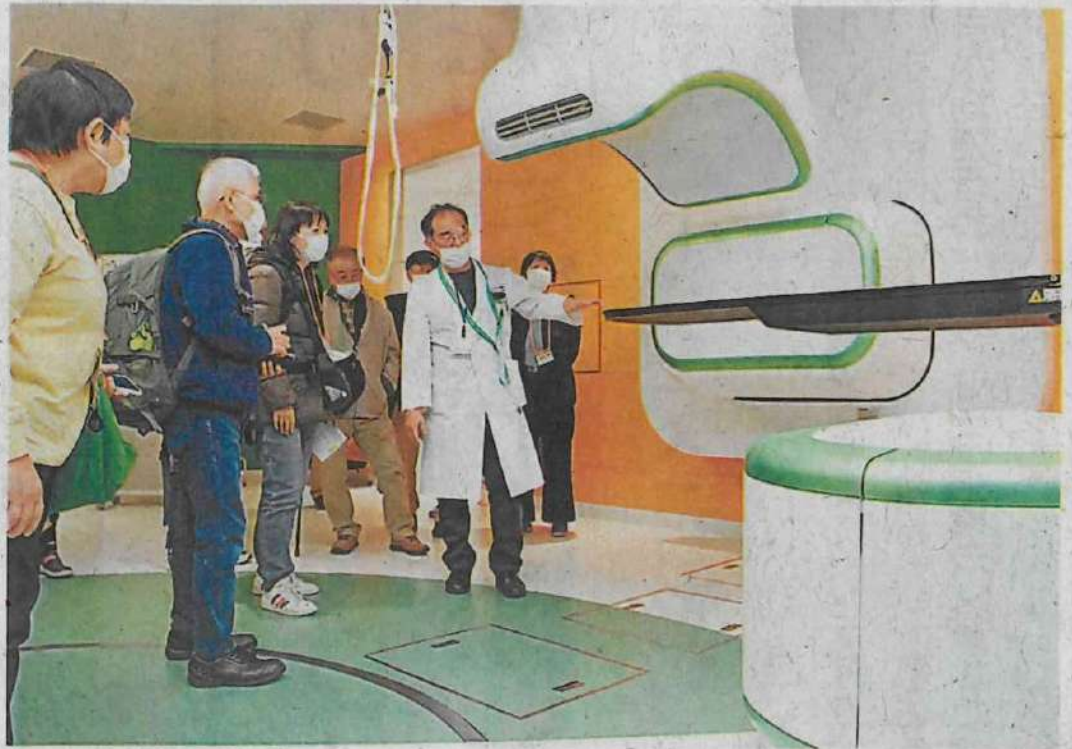


最先端がん治療に理解

山形で重粒子センター見学会



山形大医学部東日本重粒子センターの施設見学会が8日、山形市の現地で開かれ、約500人が北日本唯一の重粒子線がん治療施設への理解を深めた。

岩井岳夫センター長が館

内を案内し、重粒子線治療の利点や、炭素イオンを光速の約70%まで加速するシンクロトロン加速器、あらゆる角度から重粒子線を照射でき、世界で4台しか稼働していない回転ガントリ

重粒子線照射装置が公開され、住民らが最先端のがん治療に理解を深めた施設見学会
山形市・山形大医学部東日本重粒子センター

ーを紹介した。山形市のお宝広報大使「はながたべニちゃん」も登場し、施設の特長をPRした。

加速器の仕組みを学ぶ物理教室が企画され、子どもたちが電気と磁石で物体を

動かす実験に挑んだ。兄弟で参加した同市桜田小4年井上英俊さん(9)、同1年昌俊さん(7)は「磁石の力でがんを治せるなんてすごい」と驚いていた。

施設見学会は昨年度に続き2回目。同センターは今年の第68回山新3P賞(提唱・山形新聞、山形放送)で進歩賞を受賞している。

(吉村瑛人)